

「カンタン英語で学ぶブッダの教え」研修終了報告

第一支部運営委員会

2019年5月28日(火) 09:30-12:00、港区の仏教伝道協会に於いて、表記仏教研修が実施されました。参加者は合計74名(会員57名、非会員15名、委員2名)で関東地区のみならず、熊本、京都、愛知からもご参加頂きました。仏教伝道協会は仏教聖典を40ヶ国語以上に翻訳する事業等を長年に亘り実施されており、今回、特別にJGAの仏教研修を実施して頂けることとなりました。講師には仏教伝道協会職員であり、かつ、山口教区防府組大見山超勝寺の住職もされている大來尚順師をお迎えし、1時間半に亘る講義をして頂きました。大來師は龍谷大学卒業後、カリフォルニア州バークレーの米国仏教大学院に進学し修士課程を終了されました。その後、ハーバード大学神学部研究員を経て帰国され、現在は僧侶としての活動の他にも、通訳や仏教関係の翻訳をされ、多数の著書の他、仏教をテーマのテレビにも準レギュラーとして出演されています。講義では、先ず「宗教」という言葉が1893年のシカゴで開催された万国宗教会議において、**religion** という言葉を「宗教」と翻訳したことが始まりであるとの説明から始まりました。又、キリスト教が神と人の二元性(dualism)に対し、仏教は人が仏になる一元性(non-dualism)が根本的な違いであるとのご説明で、外国人にもそのような説明が理解されやすいとのことでした。難解な仏教単語も英語で表すと理解し易いとの解説で、仏教単語の意味と英語表記を解説され、参加者の方々も大いに理解が深まったと思います。例えば、仏道(Buddhist Path)



とはThe way to become a Buddha like Shakyamuni Buddha.他にも四聖諦(Four Noble Truths)の苦諦はThe truth of dukkha(suffering, anxiety, mind of unsatisfactory)、集諦はThe truth of the origin of dukkha、滅諦はThe truth of the cessation of dukkha、道諦はThe truth of the path leading to the cessation of dukkha等の英語での説明がありました。その他、多くの仏教の基本思想を英語表現も含め解説され、仏教思想に対する基礎的知識が大いに深まる講義となりました。最後に質疑応答で、参加者の皆さんが普段説明に窮している事柄等を質問し、それらに対し、分かりやすい説明を頂き、今後のガイディングが大いに役立つ知識を得ることができました。

又、今回、講師の大來尚順師の著作本もご持参頂き、多くの方が参考書として購入され、かつ、大來尚順師のサイン会までして頂き、充実した研修会となりました。